

令和5年度

〔 自 令和5年 4月 1日 〕
〔 至 令和6年 3月31日 〕

事業報告

一般社団法人日本物流団体連合会

(総括)

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5月に5類に移行し様々な規制が緩和されたことにより経済活動が活発化する一方、我々物流業界においては「物流の2024年問題」をはじめとする労働力不足やカーボンニュートラルへの対応など、様々な課題に直面した1年であった。

特に「物流の2024年問題」については、国において6月に「物流革新に向けた政策パッケージ」、10月には「物流革新緊急パッケージ」が関係閣僚会議で決定され、491億円の物流に関連する予算が計上される等様々な取組みが行われており、関係する法律の改正も行われたところである。

また、トラックドライバーの時間外労働時間の上限規制(年960時間)がいよいよ適用され、モノが運べなくなる可能性が懸念されることから、メディアに物流のことが取り上げられない日が無いと言っても過言でないほど、近年に無いくらい物流に関する注目が高まってきている状況が続いている。

このような状況のなか、物流連は、新型コロナウイルスの影響により中止や見送ってきた事業を復活させ、またこれに加えて「物流の2024年問題」を見据えて新たな取組みを実施する等、様々な活動を進めてきた。

まず「物流を等身大で社会一般から見ていただく活動」として、会員企業のご協力のもと学生を対象とした物流業界セミナーやインターンシップを開催したほか、大学での寄付講座や学内セミナーにおいても、より多くの学生に「リアルな物流業の実態と物流業の重要性」を認識してもらう機会を増やした。

また、コロナ禍により中止していた「物流見学ネットワーク」については、会員企業のご協力をいただき情報をリニューアルしたうえで9月末より再開し、一般紙に意見広告を掲載する等、人材育成と広報活動の強化を継続した。

「国際的な課題への取組み強化」では、今年はベトナムに焦点を当てて調査を行い、コロナ禍以来中止していた現地に赴いての実態調査を実施した。

「労働力不足・物流の生産性向上を目指した取組み」については、ダイバーシティ推進ワーキングチームにおいて、高齢者の活躍推進をテーマとして調査検討を進めてきたほか、外国人材の就労に対する勉強会を開催した。また、国が主催する「官民物流標準化懇談会」及び傘下の分科会に積極的に参画してきた。

「物流環境対策への取組み」では、「物流環境大賞」及び「モーダルシフト取組み優良事業者賞」に多数の応募をいただき表彰を行い、社会に対して脱炭素社会の実現に向けて発信した。また、物流分野における低炭素・脱炭素推進に向けた情報交換会を引き続き開催し、

初めて荷主による講演会並びに物流施設の見学会を行い、国や産業界のカーボンニュートラルに向けた動向の把握を行ってきた。

このほか、1月にはこれからの物流について議論する「物流連シンポジウム」を開催し、また2月には国土交通省物流・自動車局幹部も交えて主要メディアとの論説委員・解説委員懇談会を初めて実施した。

令和6年度はトラックドライバーの時間外労働規制の厳格化がいよいよ開始される。これに加えて、激甚化する自然災害への対応の必要性、カーボンニュートラルへの対応等様々な課題に直面し、今後の少子高齢化と人口の首都圏集中が不可避な日本において、今後も物流の持続的成長を実現していくためにはまさに抜本的かつ革新的な構造改革が求められている。

これを実現するためには、未来に向けた物流の姿を関係者で共有し、それに向かって物流業界全体で一体となり様々な取組みを進め、国をはじめ荷主の皆様・一般消費者の皆様等関係者すべてが連携・協力して取り組み、「モーダルコンビネーションの最適解」を全員で追及していく必要がある。

以上のような問題意識のもと、物流業界のさらなる発展に寄与するため、官民連携、他産業との連携を強化し、より一層充実した取組みを行っていく。

目 次

I. 法人の状況に関する重要な事項	1 P
1. 業務活動の推進（委員会活動等）	1 P
（1）基本政策委員会関係	1 P
（2）人材育成・広報委員会関係	2 P
（3）国際業務委員会関係	7 P
（4）物流環境対策委員会関係	11 P
（5）経営効率化委員会関係	15 P
（6）その他	18 P
2. 公益目的支出計画による事業活動	19 P
実施事業＜継続事業＞に関する事業報告	19 P
3. 広報・情報提供・出版事業等の活動	20 P
（1）会員及び外部への情報提供等	20 P
（2）出版事業	24 P
（3）研修事業	24 P
（4）物流EDI事業	24 P
（5）サイバーセキュリティ関連	24 P
4. 総会・役員会の開催状況	26 P
（1）総会	26 P
（2）正副会長会議	26 P
（3）理事会	26 P
5. 会員の異動	28 P
II. 業務の適正を確保するための体制の整備についての決定等	28 P
III. 事業報告の付属明細書について	28 P

I. 法人の状況に関する重要な事項

1. 業務活動の推進（委員会活動等）

（１）基本政策委員会関係

①第３３回基本政策委員会

- ・開催日：令和５年９月２５日

第一部「講演会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル８階大会議室
- ・出席者：７７名（対面１６名、オンライン６１名）
- ・講 師：国土交通省総合政策局物流政策課長 平澤崇裕氏
- ・テーマ：「最近の物流政策の概要」

第二部「委員会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル８階大会議室
- ・出席者：１６名
- ・議 題：a. 令和６年度予算・自動車関係予算概算要求概要について
b. 物流連の令和５年度上期事業活動について
c. その他

委員会では、最初に、平澤物流政策課長から「令和６年度予算・自動車関係予算概算要求概要」について説明があり、これを受けて各委員より活発な質疑応答があった。

続いて、事務局から物流連の上期の活動状況等の報告が行われ、引き続き官民連携による課題解決に向けた取組みの重要性が確認された。

②第３４回基本政策委員会

- ・開催日：令和６年３月１９日

第一部「講演会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル８階大会議室
- ・出席者：約４９名（対面１６名、オンライン約３３名）
- ・講 師：国土交通省物流・自動車局国際物流室長 鈴木淳氏
- ・テーマ：「物流の革新に向けて～2024年を「始まり」の年に～」

第二部「委員会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル８階大会議室
- ・出席者：１６名
- ・議 題：a. 物流連の令和６年度事業計画（案）について
b. その他

委員会に先立つ講演会では、鈴木室長から「物流革新に向けた政策パッケージ」な

ど国の施策と令和5年度補正予算、2030年度に向けた中長期計画等について説明があった。

委員会では、事務局から物流連の令和6年度事業計画（案）の説明が行われ、活発な質疑応答がなされた。

（２）人材育成・広報委員会関係

①令和5年度第1回人材育成・広報委員会

- ・開催日：令和5年10月11日（水）
- ・会 場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：23名（対面13名、オンライン10名）
- ・議 題：a. 令和5年度上期活動報告
b. 「第10回物流業界インターンシップ東京」及び
「第4回物流業界インターンシップ大阪」の活動報告
c. 令和5年度下期活動計画（案）

委員会では、近藤委員長の挨拶の後、上期の活動として主に「物流業界インターンシップ」等について事務局から報告があり、意見交換が行われた。

続いて、下期の活動計画として、特に若い世代に、「物流」を知り物流業の社会的重要性や先進性について理解を深めてもらうため、「物流業界研究セミナー」や「大学寄付講座」、「物流見学ネットワーク」等の取組みを実施する旨の説明があり、下期活動計画（案）は原案通り承認された。

②令和5年度第2回人材育成・広報委員会

- ・開催日：令和6年3月13日（水）
- ・会 場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：19名（対面12名、オンライン7名）
- ・議 題：a. 令和5年度 年間活動報告
b. 「第10回物流業界研究セミナー東京」、
「第6回物流業界研究セミナー大阪」、
「第4回物流業界研究 Web セミナー」の活動報告
c. 令和6年度年間活動計画（案）

委員会では、赤間委員長の挨拶の後、事務局から年間活動報告として、上期の活動のほか、「物流業界研究セミナー東京・大阪」、「物流業界研究 Web セミナー」、「大学寄付講座」、「大学学内セミナー」の実施報告、会員の若手で構成する「物流いいところみつ隊」の活動状況等の報告が行われ、業界研究セミナーを継続して実施していくことの重要性が確認された。

続いて、事務局から令和6年度の活動計画（案）の説明があったが、例年の活動の

ほか、毎年実施してきた「物流業界インターンシップ」について、学生の就活が早期化していることなど状況の変化を踏まえて、「物流業界研究 Web セミナー」に変更して前倒しで実施する等の説明が行われ、年間活動計画（案）は原案通り承認された。

③「第10回物流業界インターンシップ東京」及び「第4回物流業界インターンシップ大阪」

主に就職活動を控える学生に、物流業の社会的重要性や先進性などに対する理解を深め業界の魅力を感じてもらうことを目的として毎年実施している。

令和5年度も、企業訪問に先立つ合同説明会を実開催（東京、大阪）で行うとともに、地方からの参加可能なオンライン開催も実施した。

合同説明会では、物流連による講演会や業界の若手によるパネルディスカッションの他、各社のブース等にて会社概要や経営戦略、提供する物流サービス等の企業情報の説明が行われ、学生に関心のある企業ブースを訪問してもらった。

合同説明会の後、学生の希望も踏まえ、各参加企業において学生の企業訪問（インターンシップ）を実施した。また、企業訪問終了後に、インターンシップの総括として、振り返りのためのグループワーク等をオンラインにより実施した。

全体として、参加学生は約335名、参加企業数は30社1団体だった。

●合同説明会

【Web（東京・大阪共通）】

- ・開催日：令和5年8月17日
- ・参加学生数：192名
- ・参加企業数：29社1団体

【大阪会場】

- ・開催日：令和5年8月21日
- ・会場：ハービスHALL B2階
- ・参加学生数：54名
- ・参加企業数：14社1団体

【東京会場】

- ・開催日：令和5年8月28日
- ・会場：東京都立産業貿易センター 浜松町館
- ・参加学生数：89名
- ・参加企業数：29社1団体

●学生による企業訪問（企業インターンシップ）

【大阪】

- ・開催日 令和5年8月30日（水）～9月1日（金）
（計3日間の中から1人1～3社）
- ・会場 各参加企業が指定する事業拠点等、またはオンラインにて実施

- ・参加学生数 59名
- ・参加企業数 16社1団体
(延べ受入数105名、参加者1人あたり訪問数1.8社)

【東京】

- ・開催日 令和5年9月5日（火）～9月7日（木）
(計3日間の中から1人1～3社)
- ・会場 各参加企業が指定する事業拠点等、またはオンラインにて実施
- ・参加学生数 146名
- ・参加企業数 30社1団体
(延べ受入数315名、参加者1人あたり訪問数2.2社)

●インターンシップ総括（まとめプログラム）

【Web（東京・大阪共通）】

- ・開催日 令和5年9月8日（金）
- ・会場 オンライン開催
- ・参加学生数 44名
- ・参加企業数 8社 ※物流いいところみつけ隊メンバー参加

※参加企業等一覧（50音順）

(株)イーソーコドットコム/上野トランステック(株)/(株)ANA Cargo/NR S(株)/
NX商事(株)/鴻池運輸(株)/佐川急便(株)/佐川グローバルロジスティクス(株)/
鈴与(株)/西濃運輸(株)/セイノースーパーエクスプレス(株)/センコー(株)/
(公社)全国通運連盟/第一貨物(株)/東陽倉庫(株)/東洋埠頭(株)/トナミ運輸(株)/
(株)ニチレイロジグループ本社/(株)日新/日鉄物流(株)/日本貨物鉄道(株)/
日本梱包運輸倉庫(株)/日本通運(株)/日本パレットレンタル(株)/日本ロジテム(株)/福山通運(株)/
船井総研ロジ(株)/(株)丸運/丸全昭和運輸(株)/(株)ヤマタネ/
ロジスティード(株)

④「第10回物流業界研究セミナー東京」、「第6回物流業界研究セミナー大阪」及び、「第4回物流業界研究 Web セミナー」の開催

就職活動を控える学生を対象に、物流業を広く理解してもらう目的で、多様な業種の物流企業を一堂に集結させ、物流業の業界研究をすることができる機会を提供するために物流業界研究セミナーを開催した。

参加企業が各ブースや Web ルームにて会社概要や経営戦略、提供する物流サービス等の企業情報を提供するほか、特別プログラムとして、物流連が行う物流業界全般に関する講演会や業界の若手によるパネルディスカッションなどの企画を用意した。

全体として、参加学生は約445名、参加企業数は38社1団体だった。

【第4回物流業界研究Webセミナー】

- ・開催日 令和5年12月9日（土）、令和6年1月12日（金）
- ・会場 Zoom ※事務局は物流連事務所、参加企業は自社オフィス等
- ・参加学生数 12月9日（土） 131名
1月12日（金） 160名
- ・参加企業数 12月9日（土） 30社1団体
1月12日（金） 35社

【第6回物流業界研究セミナー大阪】

- ・開催日 令和6年1月27日（土）
- ・会場 ハービスHALL B2階
- ・参加学生数 42名
- ・参加企業数 24社

【第10回物流業界研究セミナー東京】

- ・開催日 令和6年2月10日（土）
- ・会場 東京都立産業貿易センター 浜松町館 5階
- ・参加学生数 112名
- ・参加企業数 30社

※参加企業一覧（50音順）

(株)イーソーコドットコム/上野トランステック(株)/(株)ANA Cargo/
SBS フレック(株)/NRS(株)/NX商事(株)/F-Line(株)/花王ロジスティクス(株)/
ケイヒン(株)/鴻池運輸(株)/佐川急便(株)/佐川グローバルロジスティクス(株)/
山九(株)/鈴与(株)/西濃運輸(株)/セイノースーパーエクスプレス(株)/センコー(株)/
第一貨物(株)/東陽倉庫(株)/東洋埠頭(株)/トナミ運輸(株)/(株)日新/日鉄物流(株)/
(株)ニチレイロジグループ本社/日本貨物鉄道(株)（JR 貨物）/日本梱包運輸倉庫(株)/
日本通運(株)/日本パレットレンタル(株)/日本ロジテム(株)/福山通運(株)/丸運(株)/
丸全昭和運輸(株)/三井倉庫ホールディングス(株)/三菱倉庫(株)/安田倉庫(株)/
(株)ヤマタネ/ユーピーアール(株)/ロジスティード(株)/
(一社) 国際フレイトフォワードーズ協会

⑤「ロジスティクス PR グループ 2023～物流いいところみつけ隊」会合の開催

会員企業・団体の若手社員で構成する物流いいところみつけ隊の会合を計5回行い、インターンシップ・業界研究セミナーの準備、打合せ、意見交換等を行った。

- ・開催日：令和5年5月19日、6月30日、9月27日、
11月6日、令和6年3月15日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室 ※オンライン併用

⑥学情主催「あさがくナビの就職博」に出展

就職活動を控える学生を対象に、物流業を広く理解していただき、冬開催予定の業界研究セミナーに参加してもらうため、令和5年10月1日（日）学情主催の合同企業説明会「あさがくナビの就職博大阪」に出展した。

当ブースに着席した18名の学生に対し、物流業界の説明と業界研究セミナーの案内を行った。

⑦大学寄附講座の実施

物流各界を代表するトップマネジメントがそれぞれの立場から物流事情を講義する大学寄附講座を、上期1校、下期2校で実施した。

- ・前期：青山学院大学 毎週月曜日（令和5年4月10日～7月10日）
登録学生 200名
- ・後期：法政大学 毎週火曜日（令和5年10月3日～令和6年1月9日）
登録学生 60名
- 横浜国立大学 毎週木曜日（令和5年10月12日～令和6年1月25日）
登録学生 150名

⑧大学学内セミナーへの講師派遣

各大学が学生の業界研究のために実施する「学内セミナー」に参加し、物流連から物流業界の現状と求める人材像等についての講義を以下4校に実施した。

- ・京都外国語大学（対面） 令和5年6月9日（金）
- ・東京女子大学（オンライン） 令和5年6月19日（月）
- ・拓殖大学（対面） 令和5年6月23日（金）
- ・杏林大学（動画） 令和5年12月15日（金）

⑨物流見学ネットワークの受入れ

物流業の若い世代への認知度向上を目指して、小・中・高生向けに全国各地の物流施設の見学を斡旋する「物流見学ネットワーク」を実施している。

この取組みはコロナ禍のためしばらく休止していたが、令和5年9月に、登録されている物流施設を更新・拡充して、掲載数70拠点で再開した。

令和5年度は9カ所で受入れを実施し、305名が見学を行った。

⑩中学生職場体験の受入れ

主に中学生を対象として職場体験実習を行い、実際に「働く」ことを体験するとともに、物流の仕組み等を学習する機会を以下2校に提供した。

- ・新宿区立牛込第三中学校 2名 令和5年9月5日（火）～2日間

- ・東京都立白鷗高等学校附属中学校 3名 令和5年11月7日（火）～3日間

⑪物流学習の受入れ

首都圏の小・中・高校生及び全国各地より研修旅行で上京する中・高生の企業訪問（自由研究テーマ）の対象として、物流連が受入れ先となり、以下の2校に物流学習の場を提供した。

- ・仙台市立上杉山中学校 5名 令和5年5月18日（金）
- ・川崎市立宮内中学校 6名 令和5年6月20日（火）

⑫一般消費者等に向けた新聞広告の掲載と意識調査の実施

2024年を目前に控え、広く消費者に向けて物流が危機的な状況にあることを伝え、持続可能な物流の実現のためにどのようにすればよいか考えていただく契機とするため、令和5年の年末、朝日新聞に意見広告（一面広告）を掲載した。

合わせて、この紙面を活用して、2024年問題に関する一般消費者の意識を把握するためアンケート調査を実施した。

【概要】

- ・掲載日：令和5年12月26日（火）
- ・掲載紙：朝日新聞 東京・大阪セット版朝刊15段（1面）カラー
276万部発行

⑬活躍する女性の紹介

物流業界における女性の活躍状況を広く社会に発信するため、各企業で活躍する女性社員にインタビュー形式で話を伺い、業務の内容や物流業でのやりがい、今後の抱負等を取りまとめ、会報や物流連のホームページで紹介した。

- ・日本ロジテム(株) 会報104号（6月発行）ホームページに掲載
- ・日本梱包運輸倉庫(株) 会報105号（9月発行）ホームページに掲載
- ・日本パレットレンタル(株) 会報106号（12月発行）ホームページに掲載
- ・NX商事(株) 会報107号（3月発行）ホームページに掲載

（3）国際業務委員会関係

①令和5年度第1回国際業務委員会

- ・開催日：令和5年10月12日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室

第一部「講演会」

- ・出席者：70名（対面20名、オンライン50名）

- ・講 師：安全サポート株式会社 代表 有坂錬成氏
- ・テーマ：「頻発する地政学リスクの実態と危機管理の課題
～海外展開する物流企業が備えるべき対策～」

第二部「委員会」

- ・出席者：27名（対面20名、オンライン7名）
- ・議 題：a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取組み（国土交通省）
b. 令和5年度活動中間報告について

委員会では、伴野委員長の挨拶の後、国土交通省物流・自動車局鈴木国際物流室長から最近の国土交通省の国際物流政策の取組みについて説明が行われた。

続いて、事務局から上期の活動報告として、海外物流戦略ワーキングチームで進めている海外物流事情実態調査（ベトナムが対象国）に関する経過報告を行った。

次に、下期の活動計画として、「海外物流事情実態調査」の今後の進め方、「コールドチェーン物流サービスの規格普及に向けた取組み」に係る会議の予定等について説明が行われ、原案通り承認された。

②令和5年度第2回国際業務委員会

- ・開催日：令和6年3月8日
- ・会 場：全日通霞が関ビル8階会議室

第一部「講演会」

- ・出席者：72名（対面23名、オンライン49名）
- ・講 師：拓殖大学 商学部教授 松田琢磨氏
- ・テーマ：「国際物流の現状・見通しとサプライチェーンの最適化」

第二部「委員会」

- ・出席者：36名（対面23名、オンライン13名）
- ・議 題：a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取組み（国土交通省）
b. 令和5年度活動報告について
c. 令和6年度活動計画（案）について

委員会では、伴野委員長の挨拶の後、国土交通省物流・自動車局鈴木国際物流室長から最近の国土交通省の国際物流政策の取組みについて説明が行われた。

続いて、事務局からベトナムを対象国とした海外物流事情実態調査報告書の取りまとめなど令和5年度の活動報告があった。

次に、令和6年度の活動計画（案）について、「海外物流事情実態調査」の対象国をインドとすること、「コールドチェーン物流サービスの規格普及に向けた取組み」や「物流分野における国際標準化に関する取組み」等の説明があり、原案通り承認された。

③海外物流戦略ワーキングチームの活動

国際業務委員会では、国土交通省幹部を交えたワーキングチームを結成し、海外において我が国の物流事業者がどのような問題を抱え、どのような要望を持っているかを把握し、一企業を越える横断的問題について検討を行うため、会合を定期的に行っている。令和5年度は計4回の会合を開催した。

本年度の海外物流事情実態調査の対象国はベトナムとし、Webの活用やデスクトップ調査等により調査を実施した。なお、現地調査については、コロナ禍のため令和2年度以降実施していなかったが、11月末から12月初めに事務局によるベトナム現地調査を行った。

また、国土交通省による講演を通じて同省の国際物流政策に関する理解を深め、情報共有を図るとともに、同省が行う各種アンケートへの協力等を行った。

* 第1回ワーキングチーム会合

- ・開催日：令和5年7月19日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室

第一部「講演会」

- ・出席者：86名（対面24名、オンライン62名）
- ・講師：ジェトロ 調査部アジア大洋州課 庄浩充氏
- ・テーマ：「コロナ禍以降のベトナムの経済概況と日系企業動向」

第二部「ワーキングチーム会合」

- ・出席者：44名（対面24名、オンライン20名）
- ・議題：a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取組み(国土交通省)
b. 海外物流戦略 WT の活動について（事務局）

* 第2回ワーキングチーム会合

- ・開催日：令和5年9月22日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室

第一部「講演会」

- ・出席者：77名（対面21名、オンライン56名）
- ・講師：株式会社アプライズ 代表取締役社長 岩堀克英氏
- ・テーマ：「ベトナム進出における雇用の課題と魅力
～物流業界への期待と就労の現状～」

第二部「ワーキングチーム会合」

- ・出席者：41名（対面21名、オンライン20名）
- ・議題：a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取組み(国土交通省)
b. 海外物流戦略 WT の活動について（事務局）
海外物流事情実態調査（ベトナム）進捗報告（事務局）

* 第3回ワーキングチーム会合

- ・開催日：令和5年12月22日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室

第一部「講演会」

- ・出席者：84名（対面22名、オンライン62名）
- ・講師：熊本学園大学 商学部長 伊津野範博氏
- ・テーマ：「ベトナムにおけるメコン地域との物流連結性に見る現状と課題」

第二部「ワーキングチーム会合」

- ・出席者：40名（対面22名、オンライン18名）
- ・議題：a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取組み（国土交通省）
b. 海外物流戦略WTの活動について（事務局）
海外物流事情実態調査（ベトナム）進捗報告（事務局）

*** 第4回ワーキングチーム会合**

- ・開催日：令和6年3月1日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室

第一部「講演会」

- ・出席者：73名（対面28名、オンライン45名）
- ・講師：専修大学 商学部教授 池部亮氏
- ・テーマ：「米中対立下のアジアのサプライチェーンとベトナム」

第二部「ワーキングチーム会合」

- ・出席者：39名（対面28名、オンライン11名）
- ・議題：a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取組み（国土交通省）
b. 令和5年度活動報告、令和6年度活動方針（事務局）
海外物流事情実態調査（ベトナム）内容確認（事務局）

*** 海外現地調査（事務局による現地調査）**

- ・行程：令和5年11月25日（土）～12月2日（土）
- ・訪問都市：ハノイ、ダナン、ホーチミン
- ・訪問先：JETRO、日系物流企業3社、タンロン大学、ハノイ水利大学等
物流施設、商業施設等

④コールドチェーン物流サービス規格等の普及に向けた取組み

日本主導のコールドチェーン物流サービス規格であるISO国際規格(BtoC)と日本規格協会規格(BtoB)については、両規格の普及に向けた取組みが官民連携して進められている。

令和3年1月、日本からの提案によりISOに新たな技術委員会が設置され、同年6月に同委員会の第1回総会が開催された。その後、同委員会に関連して戦略委員会とJSA-S1004普及検討委員会がスタートし、頻繁に開催されている。また、日本規格協会規格については、小口保冷配送サービス規格(ISO/23412)の普及に向けた検討委員会が開

催されている。

令和5年度は ISO/TC315 戦略委員会が5回、JSA-S1004 普及検討委員会が2回開催されたが、物流連はこれらの委員会等に構成員として参画しており、引き続き、関係者と連携して、コールドチェーン物流規格の普及に取り組むこととしている。

(4) 物流環境対策委員会関係

①令和5年度第1回物流環境対策委員会

- ・開催日：令和5年9月26日

第一部「講演会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：66名（対面17名、オンライン49名）
- ・講師：株式会社商船三井 ウェルビーイングライフ営業本部
フェリー・関連事業部 中村正史氏
- ・テーマ：「LNG 燃料フェリーの建造と商船三井グループの環境への取り組み」

第二部「委員会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：28名（対面17名、オンライン11名）
- ・議題：a. 令和5年度上期活動報告について
b. 令和5年度下期活動計画（案）について

委員会では、篠部委員長の挨拶の後、上期活動報告として、第24回物流環境大賞の表彰結果のほか、「物流分野における低炭素・脱炭素化推進に向けた情報交換会」において、新たな試みとして荷主企業による講演・意見交換を行った旨の報告があった。

続いて、下期活動計画（案）として、第10回モーダルシフト取組み優良事業者表彰の表彰式を11月に、第22回物流パートナーシップ優良事業者表彰式を12月に行うこと、情報交換会の活動として物流施設の見学会を予定していることなどが説明され、活動計画は原案通り承認された。

②令和5年度第2回物流環境対策委員会

- 開催日：令和6年3月11日

第一部「講演会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：80名（対面19名、オンライン61名）
- ・講師①：佐川急便株式会社 事業開発部 佐藤諒平氏
テーマ：「物流環境対策委員会基調講演」
- ・講師②：全国通運株式会社 開発営業部 佐藤貴広氏
テーマ：「卸売業者と複数の小売業者の連携による鉄道貨物へのモーダルシフトにつ

いて」

第二部「委員会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル 8 階大会議室
- ・出席者：27 名（対面 19 名、オンライン 8 名）
- ・議 題：a. 令和 5 年度下期の活動報告について
b. 令和 6 年度の活動計画（案）について

委員会では、下期の活動について、第 10 回モーダルシフト取組み優良事業者表彰式や、令和 5 年度物流パートナーシップ優良事業者表彰式の結果などが報告された。

続いて、令和 6 年度の活動計画（案）について、各種表彰制度や物流分野における低炭素・脱炭素化推進に向けた情報交換会等を継続して実施することなどが説明された。また、モーダルシフト表彰のさらなる拡充を図るべく、名称を変更、部門賞など表彰体系を大幅に見直し、荷主も表彰の対象に加えるなど表彰規程を改正する旨を説明し、活動計画は原案通り承認された。

③第 24 回物流環境大賞の表彰

物流部門における環境保全の推進や環境意識の高揚等を図るため、物流の健全な発展に貢献した団体・企業または個人を表彰することとしている。本年度は選考の結果、30 案件、66 社の表彰が決定され、定時総会に合わせて表彰式が開催された。

- ・表彰式開催日：令和 5 年 6 月 27 日（火）
- ・会場：第一ホテル東京

a. 物流環境大賞

- ・株式会社フェリーさんふらわあ

b. 低炭素物流推進賞（1 件）

- ・北海道ロジサービス株式会社

c. サステナブル活動賞（2 件）

- ・AGC ロジスティクス株式会社/諸星運輸株式会社/名鉄運輸株式会社
- ・SBS 東芝ロジスティクス株式会社/東芝ホクト電子株式会社

d. 先進技術賞（2 件）

- ・株式会社クリンペット・ジャパン
- ・三井倉庫ホールディングス株式会社

e. 日本物流記者会賞（1 件）

- ・霧島酒造株式会社/株式会社ニチレイ・ロジスティクス九州

f. 特別賞（23 件）

- ・株式会社キーテクノロジー/日本梱包運輸倉庫株式会社
- ・山九株式会社/THK 株式会社/東京九州フェリー株式会社/
マリネックス株式会社/株式会社サンキュウ・トランスポート・九州

- ・山九株式会社/三井・ダウポリケミカル株式会社
- ・昭和産業株式会社/鈴与株式会社/鈴与カーゴネット株式会社
- ・株式会社住友倉庫
- ・センコー株式会社/旭化成ホームズ株式会社/フジテック株式会社
- ・東京九州フェリー株式会社/佐川急便株式会社/日本郵便株式会社
- ・東京納品代行株式会社
- ・浪速運送株式会社/エコビズ株式会社/株式会社アーバンリサーチ
- ・日本製紙株式会社/DOWA エコシステム株式会社/日本貨物鉄道株式会社
- ・日本通運株式会社（2件）
- ・日本通運株式会社/三和酒類株式会社
- ・日本G L P株式会社
- ・三井倉庫株式会社/花王株式会社/いすゞロジスティクス株式会社
- ・ミネベアアクセスソリューションズ株式会社/久留米運送株式会社/
川崎近海汽船株式会社
- ・株式会社メディセオ/日本石油輸送株式会社/日本貨物鉄道株式会社/
日本フレートライナー株式会社
- ・ユニリーバ・ジャパン株式会社/ライオン株式会社/株式会社P A L T
A C/鈴与株式会社/鈴与カーゴネット株式会社
- ・ロジスティード株式会社/ロジスティードソリューションズ株式会社
- ・株式会社ロジスティクス・ネットワーク
- ・A G C ロジスティクス株式会社/大王海運株式会社/大川運輸株式会社
- ・S B S 東芝ロジスティクス株式会社/株式会社東芝/積水化成品工業株
式会社
- ・S B S 東芝ロジスティクス株式会社プラットフォーム事業部

④第10回モーダルシフト取り組み優良事業者公表・表彰

モーダルシフトの促進に関し、物流事業者の自主的な取り組みの奨励及び取り組み意識の高揚を図るため、モーダルシフトを積極的に推進した優良な事業者を公表・表彰している。令和5年度は選考の結果、8社の表彰が決定され、11月の理事会に合わせて表彰式が開催された。

- ・開催日：令和5年11月21日
- ・会 場：東京プリンスホテル

a. モーダルシフト最優良事業者賞(大賞)（2件）

- ・佐川急便株式会社
- ・全国通運株式会社

b. 実行部門（2件）

- ・山九株式会社/日本通運株式会社

c. 改善部門

該当無し

d. 新規開拓部門（４件）

- ・ ＳＢＳ東芝ロジスティクス株式会社/ＮＳＲ株式会社/株式会社 タイセイ/日本通運株式会社

e. 有効活用部門（２件）

- ・ 山九株式会社/株式会社丸和通運

⑤令和５年度物流パートナーシップ優良事業者表彰

グリーン物流パートナーシップ会議は、物流分野の排出量削減に向けて、荷主と物流事業者が連携した取組みを支援する場として発足した。令和５年度は２２回目となる同会議を開催し、物流パートナーシップ優良事業者表彰の各賞の表彰を行った。本年度は、大臣表彰２件、物流DX・標準化表彰２件、物流構造改革表彰２件、強靱・持続可能表彰２件、特別賞３件の計１１件が表彰された。

- ・ 開催日：令和５年１２月１８日
- ・ 会 場：砂防会館別館
- ・ 出席者：約１４５名
- ・ 主 催：国土交通省、経済産業省、日本ロジスティクスシステム協会
日本物流団体連合会

⑥物流分野における低炭素・脱炭素化推進に向けた情報交換会

物流業界における低炭素・脱炭素化の推進に資することを目的として、令和３年度から本情報交換会を開催している。令和５年度は、初めて荷主企業やエネルギー業界から講演者を招き、環境負荷低減に資する各社の取組みを把握し、情報共有・意見交換等を行った。また、初めて施設見学会も開催し、参画メンバーとの親睦も深めた。

●第１回会合

- ・ 開催日：令和５年８月８日
- ・ 会 場：商工会館

第一部「講演会」

- ・ 出席者：８９名（対面１６名、オンライン７３名）
- ・ 講 師：日清食品株式会社 取締役サプライチェーン本部長 深井雅裕氏
- ・ テーマ：「日清食品におけるサプライチェーン構造改革」

第二部「会合」

- ・ 出席者：２５名（対面１６名、オンライン９名）
- ・ 議 題：a. 参加企業・団体の取組みについてのプレゼンテーション
b. 意見交換
c. その他

●第2回会合（施設見学会）

- ・開催日：令和5年10月16日
- ・会場：日本貨物鉄道株式会社 東京貨物ターミナル駅
- ・参加者：17名

JR貨物の東京貨物ターミナル駅において、概要や環境CSRについて説明を受けたのち、駅構内・レールゲート（物流倉庫）の見学を行った。

●第3回会合

- ・開催日：令和6年2月7日
- ・会場：全日通霞が関ビルディング8階会議室

第一部「講演会」

- ・出席者：94名（対面14名、オンライン80名）
- ・講師：出光興産株式会社
CNX戦略室 バイオ・合成燃料事業課 伊井憲一氏
- ・テーマ：「出光のカーボンニュートラルへの取り組み
～SAF、バイオ燃料、カーボンオフセット燃料について～」

第二部「小グループ制による情報交換会」

- ・出席者：14名（対面のみ）
- ・議題：自社の2024年問題についての取り組み

⑦各種表彰事例の普及

会員企業等における環境活動の促進に資するため、物流環境大賞、モーダルシフト表彰（大賞）等を受けた優良事例紹介する講演会を開催するなど、普及啓発に努めた。

（5）経営効率化委員会関係

①令和5年度第1回経営効率化委員会

- ・開催日：令和5年9月15日

第一部「講演会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：83名（対面15名、オンライン68名）
- ・講師：株式会社NX総合研究所 主任研究員 大原みれい氏
- ・演題：「物流事業者における女性活躍推進に向けて
～ダイバーシティ推進ワーキングチーム（女性の活躍推進）での活動を踏まえて～」

第二部「委員会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：24名（対面15名、オンライン9名）

- ・議 題：a. 令和 5 年度上期活動報告について
b. 令和 5 年度下期活動計画（案）について

委員会では、令和 5 年度上半期活動報告として、今年度から実施しているダイバーシティ推進ワーキングチーム（高齢者活躍推進）の活動報告、また「外国人材の就労に関する勉強会」の開催報告、国主催の「官民物流標準化懇談会」「パレット標準化推進分科会」「モーダルシフト推進・標準化分科会」への参画等についての説明があった。

続いて、令和 5 年度下半期活動計画（案）として、ダイバーシティ推進ワーキングチーム（高齢者活躍推進）の今後の予定、物流における先進技術等についての情報提供等を行うことについて説明があり、原案通り承認された。

②令和 5 年度第 2 回経営効率化委員会

- ・開催日：令和 6 年 3 月 4 日

第一部「講演会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル 8 階会議室
- ・出席者：91 名（対面 18 名、オンライン 73 名）
- ・講 師：船井総研ロジ株式会社 取締役常務執行役員 赤峰誠司氏
- ・テーマ：「2024 年物流業界時流と物流 DX の課題」

第二部「委員会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル 8 階会議室
- ・出席者：28 名（対面 18 名、オンライン 10 名）
- ・議 題：a. 令和 5 年度下半期 活動報告
b. 令和 6 年度 活動計画（案）

委員会では、ダイバーシティ推進ワーキングチーム（高齢者活躍推進）の活動状況、「官民物流標準化懇談会」及び「パレット標準化推進分科会」、「モーダルシフト推進・標準化分科会」への参画等について事務局から説明が行われた。

続いて、令和 6 年度活動計画（案）として、ダイバーシティ推進ワーキングチーム（高齢者活躍推進）の調査検討を継続すること、外国人材の就労に関する勉強会を開催すること等の説明が事務局から行われ、原案通り承認された。

③ダイバーシティ推進ワーキングチーム（高齢者の活躍推進）

経営効率化委員会のもとに、“高齢者の活躍推進”をテーマとするワーキングチーム（座長：東京女子大学二村真理子教授）を立ち上げ、計 4 回の会合を開催した。令和 5 年度は、アンケート調査、ヒアリング調査、講演会を実施し、物流業界における高齢者雇用の現状と課題について調査を進めた。

*** 第1回会合**

- ・開催日：令和5年7月27日（木）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：22名（対面14名、オンライン8名）
- ・議題：a. ワーキングチームの概要説明
b. 高齢者の雇用の現状
c. 事前調査の結果報告
d. アンケート調査案について
e. 質疑応答

*** 第2回会合**

- ・開催日：令和5年11月8日（水）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：20名（対面9名、オンライン11名）
- ・議題：a. アンケート調査結果報告
b. 高齢者活躍推進のための課題
c. ヒアリング項目案について

*** 第3回会合**

- ・開催日：令和5年12月7日（木）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：18名（対面10名、オンライン8名）
- ・議題：a. 講演会
講師：高齢・障害・求職者雇用支援機構
高齢者雇用推進・研究部普及啓発課長 黒木朗充氏
テーマ：高齢者雇用の動向と先進企業事例
b. 高齢者活躍推進のための課題（討論）

*** 第4回会合**

- ・開催日：令和6年3月29日（金）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：17名（対面8名、オンライン9名）
- ・議題：a. ヒアリング結果の報告
b. 質疑応答

④外国人材の就労に関する勉強会

物流業界における外国人材の就労に向けて主に制度面の検討に資するため、会員企業・団体からなる「外国人材の就労に関する勉強会」を令和元年度から開催している。

*** 第9回勉強会**

- ・開催日：令和5年9月11日（月）

第一部「講演会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：95名（対面10名、オンライン85名）
- ・講師：公益財団法人 国際人材協力機構
東京駐在事務所 所長 岡村陽子氏
- ・テーマ：「外国人材の就労について」

第二部「会合」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：17名（対面10名、オンライン7名）
- ・議題：a. 外国人材の就労について
b. 質疑応答、意見交換ほか

⑤「官民物流標準化懇談会」及び「パレット標準化推進分科会」「モーダルシフト推進・標準化分科会」への参画

新総合物流施策大綱の重要施策である物流標準化の実現に向け、産学官が連携して課題や推進方策の議論・検討を行う「官民物流標準化懇談会」が設置・開催されており、物流連会長が構成員として参画している。

また、同懇談会の下に、「パレット標準化推進分科会」と「モーダルシフト推進・標準化分科会」が設けられており、物流連も構成員として参画している。

⑥「物流資材の標準化及び運用検討ワーキングチーム」への参画

フィジカルインターネットの実現に向けて、パレット、オリコン等の物流資材の標準化、レンタル利用への切り替えの際のレンタル物流資材の運用方法等について検討を行う本ワーキングチームに、物流連も委員として参画している。

（6）その他

①国土交通大臣との意見交換を実施

令和5年5月30日、斉藤国土交通大臣と物流連の会長・副会長との意見交換会が開催された。これは、関係閣僚会議における「政策パッケージ」の策定に向けて、物流の「2024年問題」に関する意見交換を行う会合であり、出席した当連合会の会長・副会長がそれぞれの立場から意見を申し述べ、最後に斉藤大臣から国としての取組み等について発言があった。

②「物流革新・賃上げに関する意見交換会」における意見表明

令和6年2月16日、総理官邸で開催された「物流革新・賃上げに関する意見交換会」に物流連会長が出席し、関係団体として、物流が直面する様々な問題への取組みについて発言を行った。

2. 公益目的支出計画による事業活動

実施事業＜継続事業＞に関する事業報告

① ＜継続事業1＞ キャリア教育支援事業

大学生などが物流事業について理解を深める機会を提供するため、物流業界インターンシップを東京・大阪会場及びWebにおいて実施した。（学生335名が参加）

② ＜継続事業2＞ 物流関連調査・研究事業

調査・研究として、下記の活動を行った。

- a. ベトナムを対象国とする海外物流事情実態調査
- b. 物流事業者における高齢者活躍推進に向けた調査検討

③ ＜継続事業3＞ 物流の環境対応に資する活動事業

「物流環境大賞」については、大賞を始めとした複数の部門賞に関し、令和5年6月に、30案件、66社を表彰した。

「モーダルシフト取り組み優良事業者公表・表彰」については、11月に、10案件、8社を表彰した。

「物流パートナーシップ優良事業者表彰」については、経済産業省、国土交通省、日本ロジスティクスシステム協会ならびに当連合会の共催で、12月に、22回目の本会議を開催し、各表彰を行った。

④ ＜継続事業4＞ 大学寄附講座

教育支援の一環として行っている大学寄附講座については、以下の3大学で実施した。

- ・前期：青山学院大学 毎週月曜日（令和5年4月10日～7月10日）
- ・後期：法政大学 毎週火曜日（令和5年10月3日～令和6年1月9日）
- 横浜国立大学 毎週木曜日（令和5年10月12日～令和6年1月25日）

3. 広報・情報提供・出版事業等の活動

(1) 会員及び外部への情報提供等

①「新年賀詞交換会」の開催

令和6年1月29日（月）第一ホテル東京において、新年賀詞交換会を開催した。参加者は約240名。

②「物流連シンポジウム」の開催

新年賀詞交換会に先立ち、「これからの物流を語る ～2024年は始まりの年」と題して、物流の展望と「ありたい姿」、必要な取組みなどを考える物流連シンポジウムを開催した。

本シンポジウムでは、最初に、敬愛大学根本教授と国土交通省物流・自動車局 長井審議官に講演いただき、引き続き、日清食品（株）深井取締役と物流連 真貝会長が加わってパネルディスカッションを行った。

出席者は、221名（対面148名、オンライン73名）であった。

なお、このシンポジウムの内容は、YouTubeの動画に編集して配信している。

③「物流連懇談会」の開催

物流連では、平成24年度から、会員への情報提供や会員相互の情報交換を定期的に図る場として、年2回、物流連会員企業・団体等のトップ（代表者）を講師に招いた講演会を午餐会形式で開催している。

第22回懇談会は、令和5年4月19日学士会館にて、講師にヤマトホールディングス株式会社 代表取締役社長 社長執行役員である長尾裕氏を迎え、「サステナブルな物流の実現に向けて」と題して開催した。参加者は77名。

第23回懇談会は、令和5年10月19日第一ホテル東京にて、講師に全日本空輸株式会社 取締役専務執行役員である外山俊明氏を迎え、「国際航空貨物の市場動向とANAの戦略について」と題して開催した。参加者は68名。

④「講演会」等の開催

各委員会等の開催に合わせて、物流連会員向けに、外部講師を招いた講演会等を以下のとおり実施した。（計14回）

テーマ：「コロナ禍以降のベトナムの経済概況と日系企業動向」

（海外物流戦略ワーキングチーム）

- ・開催日：令和5年7月19日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室

- ・出席者：86名（対面24名、オンライン62名）
- ・講師：ジェトロ 調査部アジア大洋州課 庄浩充氏

テーマ：「日清食品におけるサプライチェーン構造改革」
（物流分野における低炭素・脱炭素化推進に向けた情報交換会）

- ・開催日：令和5年8月8日
- ・会場：商工会館5階会議室
- ・出席者：89名（対面16名、オンライン73名）
- ・講師：日清食品株式会社 取締役サプライチェーン本部長
深井雅裕氏

テーマ：「外国人材の就労について」（外国人材の就労に関する勉強会）

- ・開催日：令和5年9月11日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：95名（対面10名、オンライン85名）
- ・講師：公益財団法人 国際人材協力機構
東京駐在事務所 所長 岡村陽子氏

テーマ：「物流事業者における女性活躍推進に向けて
～ダイバーシティ推進ワーキングチーム（女性の活躍推進）で
の活動を踏まえて～」 （経営効率化委員会）

- ・開催日：令和5年9月15日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：83名（対面15名、オンライン68名）
- ・講師：株式会社NX総合研究所 主任研究員 大原みれい氏

テーマ：「ベトナム進出における雇用の課題と魅力 ～物流業界への
期待と就労の現状～」 （海外物流戦略ワーキングチーム）

- ・開催日：令和5年9月22日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：77名（対面21名、オンライン56名）
- ・講師：株式会社アプライズ 代表取締役社長 岩堀克英氏

テーマ：「LNG燃料フェリーの建造と商船三井グループの環境への取り組み」
（物流環境対策委員会）

- ・開催日：令和5年9月26日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：66名（対面17名、オンライン49名）

- ・講 師：株式会社商船三井 ウェルビーイングライフ営業本部
フェリー・関連事業部 中村正史氏

テーマ：「頻発する地政学リスクの実態と危機管理の課題
～海外展開する物流企業が備えるべき対策～」(国際業務委員会)

- ・開催日：令和5年10月12日
- ・会 場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：70名(対面20名、オンライン50名)
- ・講 師：安全サポート株式会社 代表 有坂錬成氏

テーマ：「高齢者雇用の動向と先進企業事例」(経営効率化委員会)

- ・開催日：令和5年12月7日
- ・会 場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：18名(対面10名、オンライン8名)
- ・講 師：高齢・障害・求職者雇用支援機構 高齢者雇用推進・研究部
普及啓発課 課長 黒木朗充氏

テーマ：「ベトナムにおけるメコン地域との物流連結性に見る現状と課題」
(海外物流戦略ワーキングチーム)

- ・開催日：令和5年12月22日
- ・会 場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：84名(対面22名、オンライン62名)
- ・講 師：熊本学園大学 商学部長 伊津野範博氏

テーマ：「出光のカーボンニュートラルへの取り組み

～SAF、バイオ燃料、カーボンオフセット燃料について～

(物流分野における低炭素・脱炭素化推進に向けた情報交換会)

- ・開催日：令和6年2月7日
- ・会 場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：94名(対面14名、オンライン80名)
- ・講 師：出光興産株式会社
CNX戦略室 バイオ・合成燃料事業課 伊井 憲一氏

テーマ：「米中対立下のアジアのサプライチェーンとベトナム」

(海外物流戦略ワーキングチーム)

- ・開催日：令和6年3月1日
- ・会 場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：73名(対面28名、オンライン45名)
- ・講 師：専修大学 商学部教授 池部亮氏

テーマ：「2024年物流業界時流と物流DXの課題」（経営効率化委員会）

- ・開催日：令和6年3月4日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：91名（対面18名、オンライン73名）
- ・講師：船井総研ロジ株式会社 取締役常務執行役員 赤峰誠司氏

テーマ：「国際物流の現状・見通しとサプライチェーンの最適化」

（国際業務委員会）

- ・開催日：令和6年3月8日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：72名（対面23名、オンライン49名）
- ・講師：拓殖大学 商学部教授 松田琢磨氏

テーマ：「モーダルシフト大賞受賞案件について」（物流環境対策委員会）

- ・開催日：令和6年3月11日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：80名（対面19名、オンライン61名）
- ・講師①：佐川急便株式会社 事業開発部 佐藤諒平氏
- ・講師②：全国通運株式会社 開発営業部 佐藤貴広氏

⑤物流連「会報（Grow）」の発行

会員との交流を図るため、令和5年度には、年4回（6月、9月、12月、3月）発行した。

⑥ホームページを活用した情報発信強化

ホームページの会員専用ページを活用して、会員向けに講演会資料、各種報告書等の情報提供を実施し、会員への情報発信強化を図った。

⑦「物流連のご案内」

物流連の組織や活動を紹介する「物流連のご案内」をより分かりやすく編集し、物流業界関係者に向けたアピールや、会員・賛助会員の拡大などに活用している。

⑧メールマガジンによる情報発信

現在、物流連のメールマガジンは1,450人強の配信登録があり、物流に関わる業界・行政等のニュースや各種統計情報、研修の案内等の情報発信を行っている。令和5年度も、概ね20日間隔で配信した。

⑨「論説委員・解説委員との懇談会」の実施

メディア関係者に物流の現状と課題、取組みの方向性等について理解を深めていただくため、令和6年2月、国土交通省幹部の参加を得て、主要な新聞社・テレビ局の論説委員・解説委員と物流連幹部の懇談会を物流連として初めて開催し、「物流の2024年問題」等について意見交換を行った。

(2) 出版事業

「数字でみる物流」の発行

2023年度版の物流担当者必携のポケットブック「数字でみる物流」を令和6年3月に発行した。これは、我が国の物流動向（国内物流、国際物流、輸送機関別輸送、貨物流通施設、フォワーダー、消費者物流、情報化等の動向）について、最新数値を使い、表・グラフ等にてわかりやすく詳細に解説したものである。

(3) 研修事業

実務講座の開催

下記テーマによる実務研修シリーズを計3回開催した。

a. 「ロジスティクス入門講座」

令和5年9月6日 18名（会場：砂防会館）

b. 「物流センター長のための現場力活性化の実務」

令和5年9月12～13日 7名（会場：砂防会館）

c. 「物流現場業務改善の実務」

令和5年9月26日 12名（会場：砂防会館）

(4) 物流EDI事業

下記の業務を行うとともに、関係者に情報提供を行った。

- ・物流EDI標準「JTRN」及び「物流XML/EDI標準」の維持管理
- ・ホームページ及び物流EDIセンターメールマガジンを通じての情報発信及び物流EDIの普及活動
- ・サプライチェーン情報基盤研究会等のEDI標準化団体との連携及び委員会への参加を通じた他業界との交流による普及活動
- ・流通業界のEDI標準推進団体である流通BMS推進協議会への参加
- ・RFID等EDI関連技術の情報収集と物流情報化への適用事例の検討

(5) サイバーセキュリティ関連

内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）が支援する重要インフラ分

野（NISCが指定する14分野）の業界で構成するセプターカウンスル（重要インフラ14分野、19セプターで構成）に、物流セプター幹事として参加し、サイバーセキュリティに関する業界横断的な情報交換・情報収集を行っている。令和5年12月には、NISCが主催するサイバーセキュリティに関する分野横断的演習に国土交通省、物流事業者とともに物流セプター事務局として参加した（同演習には重要インフラ14分野19セプター約6,000名が参加）。

また、国土交通省が主導する交通ISACのWGの活動（物流、鉄道、航空各分野で構成）にメンバーとして参加し、サイバーセキュリティに関する情報共有化を推進した。加えて、国土交通省が主導する交通ISACのWGの活動（物流、鉄道、航空各分野で構成）にメンバーとして参加し、サイバーセキュリティに関する情報の共有化を図った。

4. 総会・役員会等の開催状況

(1) 総会

令和5年度定時総会

- ・開催日：令和5年6月27日
- ・会場：第一ホテル東京4階「プリマヴェーラ」
- ・出席者：51名 委任状47名
- ・議題：【報告事項】令和4年度事業報告について
【第一号議案】令和4年度決算(案)について
【第二号議案】役員を選任を求める件について

(2) 正副会長会議

①第1回正副会長会議

- ・開催日：令和5年10月10日

②第2回正副会長会議

- ・開催日：令和6年3月6日

(3) 理事会

①第1回理事会

- ・開催日：令和5年6月1日
- ・会場：海運クラブ 303号室
- ・出席者：理事総数28名中、出席者18名
監事総数2名中、出席者1名
- ・議題：【第一号議案】令和4年度事業報告(案)について
【第二号議案】令和4年度決算(案)について
【第三号議案】役付役員を選定について
【第四号議案】役員候補者の選任について
【第五号議案】新規会員の入会について
【第六号議案】令和5年度定時総会の招集について

②第2回理事会

- ・開催日：令和5年6月27日
- ・会場：第一ホテル東京 4階「フローラ」
- ・出席者：理事総数28名中、出席者15名
監事総数2名中、出席者2名

- ・議 題：【第一号議案】役員候補者の選任について

③第3回理事会

- ・開催日：令和5年6月27日
- ・会 場：第一ホテル東京4階「フローラ」
- ・出席者：理事総数28名中、出席者17名
監事総数 2名中、出席者 2名
- ・議 題：【第一号議案】副会長、代表理事及び業務執行理事の
選定について

④第4回理事会

- ・開催日：令和5年11月21日
- ・会 場：東京プリンスホテル 3階「紅梅」
- ・出席者：理事総数28名中、出席者17名
監事総数 2名中、出席者 1名
- ・議 題：【第一号議案】「令和5年度事業報告(4月～10月)(案)」
について

⑤第5回理事会

- ・開催日：令和6年3月26日
- ・会 場：海運クラブ 304号室
- ・出席者：理事総数28名中、出席者19名(うちWeb参加3名)
監事総数 2名中、出席者 2名
- ・議 題：【第一号議案】「令和6年度事業計画(案)について」
【第二号議案】「令和6年度収支予算(案)について」
【第三号議案】「モーダルシフト取り組み優良事業者
公表・表彰規定の一部改正について」
【第四号議案】「常勤役員の報酬等について」

5. 会員の異動

会員種別	会 員 数		増減数
	5年度末現在	4年度末現在	
正会員(団体会員)	14	14	0
正会員(企業会員)	82	82	0
正会員 計	96	96	0
賛助会員	43	46	-3

Ⅱ. 業務の適正を確保するための体制の整備についての決定等

特記すべきことは無い。

Ⅲ. 事業報告の付属明細書について

事業報告書に詳細に記載したので、特記すべきことは無い。

以上